

2020年度第2回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 木曾川特別

木曾川（きそがわ）は、長野県中西部の鉢盛山に源を発し、飛騨川と合流して伊勢湾に注ぐ川。延長 229km。下流には、水害から集落を守るため周囲を堤防で囲んだ「輪中（わじゅう）」と呼ばれる地帯が広がる。長良川、揖斐川とともに木曾三川と呼ばれている。

○ 日進特別

日進（にっしん）は、名古屋市と豊田市に隣接した愛知県中央部の市。古くは国内屈指の窯業生産地として栄え、現在は名古屋市のベッドタウンとして宅地化が進むとともに、多くの大学が立地する学園都市として発展を続けている。

○ エニフステークス（L）

エニフ（Enif）は、ペガサス座を構成する星。同星座を構成する恒星の中で最も明るい星である。名は、ペガサスの鼻の部分にあたることからアラビア語で「馬の鼻」を意味する「アル・ Anf ・アル・ファラス（Al Anf al Faras）」に由来する。

<第2日>

○ 知多特別

知多（ちた）は、愛知県南西部の半島、また同半島北西部の市。沿岸部の工業地帯には発電所や製油所などがあり、内陸部では米・麦・園芸など農業も盛ん。

○ ムーンライトハンデキャップ

ムーンライト（Moon Light）は、月明かりを意味する英語。旧暦 8 月 15 日（現行暦では 9 月中旬～10 月初旬）の夜に見られる月は 1 年で最も美しいとされ、中秋の名月と呼ばれている。

○ サマースプリントシリーズ産経賞セントウルステークス（GⅡ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの最終戦。

本競走は、昭和62年に創設された重賞競走。当初は1400mで実施されていたが、平成12年にスプリンターズステークスの実施時期が変更されたことに伴い、距離が1200mに短縮され、実施時期は秋季競馬の開幕週へと繰上げられた。なお、第1着馬には同年のスプリンターズステークスへの優先出走権が与えられる。

セントウル（Centaur）は、ギリシャ神話に登場するケンタウロスの英語訳。上半身が人間、下半身が馬の姿をした架空の怪物。阪神競馬場内のセントウルガーデンにはセントウル像があり、同競馬場のシンボルとなっている。

産業経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 阪神ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。前身の『阪神障害ステークス』は昭和43年に創設され、当初は3300mで行われていた。幾度かの変遷を経てJ・GⅢに格付けされた後は『阪神ジャンプステークス』と名を新たにし、3140mで実施されている。本年は中京競馬場において3300mで実施される。

○ 野路菊ステークス

野路菊（のじぎく）は、キク科の多年草。西日本の海岸付近の崖や山道などに自生し、秋に白色、まれに黄色の頭状花を多数咲かせる。また、兵庫県の県花に指定されている。花言葉は「真実」。

○ 大府特別

大府（おおぶ）は、名古屋市の南部に隣接する市。愛知用水を利用した農業が盛んで、巨峰やシャインマスカットなどぶどうの産地として有名。また、スポーツ活動に力を入れており、総合型スポーツクラブ「OBUEニスポ」では様々なスポーツ教室が開かれている。

○ ケフェウスステークス

ケフェウス（Cepheus）は、北の空に見られる星座。トレミーの48星座のひとつ。名は、ギリシャ神話に登場するカシオペアの夫、アンドロメダの父である古代エチオピア王ケフェウスに由来する。

<第4日>

○ 小牧特別

小牧（こまき）は、愛知県北西部の市。市内にある小牧山は、豊臣秀吉と徳川家康の軍勢が衝突した「小牧・長久手の戦い」が行われた場所として有名。現在は名神・東名高速道路、中央自動車道が分岐する交通の要衝となっている。

○ 納屋橋ステークス

納屋橋（なやばし）は、名古屋市中区にある橋。古くから経済の大動脈として名古屋を支えてきた堀川と広小路通に架かる。欄干には堀川開削の総奉行福島正則と郷土の三英傑である織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の紋所も見られる。

○ 関西テレビ放送賞ローズステークス（GⅡ）（秋華賞トライアル）

本競走は、昭和 58 年に創設された重賞競走。当初は京都競馬場の 2000mで行われていたが、平成 8 年に阪神競馬場へ移設され、19 年より芝外回りコース新設に伴い 1800mに短縮された。なお、第 3 着までの馬には秋華賞への優先出走権が与えられる。本年は中京競馬場において 2000mで実施される。

関西テレビ放送は、大阪府大阪市に本社を置く放送局。昭和 33 年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

ローズ（Rose）は、バラを意味する英語。花言葉は「愛」「美」。

<第5日>

○ 金山特別

金山（かなやま）は、名古屋市中区と熱田区との境の地区。複数の路線が乗り入れる金山駅を中心に、多くの商業施設や飲食店が立ち並んでいる。

○ 2010メモリアルブエナビスタカップ

本競走は、10年前のJRA賞年度代表馬ブエナビスタ号の名を冠した競走。

同馬は、2010年にヴィクトリアマイル、天皇賞（秋）を制覇し、同年の他GⅠ4戦においては海外競走も含め第2着とレベルの高い舞台で存在感を示した。これらの成績が評価され、JRA賞年度代表馬に選定された。

○ JRAアニバーサリーステークス

本競走は、日頃から中央競馬をご愛顧いただいているお客様へ感謝の気持ちをお伝えするとともにJRAのこれまでの歴史を振り返る日として、9月21日（祝・月）に「JRAアニバーサリー」を実施することに伴い行われる。

同日の中山・中京競馬場では、過去（10年前・20年前）のJRA賞年度代表馬の馬名を冠した競走も併せて行われる。

<第6日>

○ ヤマボウシ賞

ヤマボウシは、ミズキ科の落葉高木。葉は楕円形で先が尖っており、花びら状の白い4枚の苞を持ち、秋には赤い集合果が実る。また、兵庫県宝塚市の市木でもある。花言葉は「友情」。

○ 夕月特別

夕月（ゆうづき）は、秋の宵月のこと。一般に、夕方西の空に見える月を指し、俳句では秋の季語として使われる。

○ 長篠ステークス

長篠（ながしの）は、愛知県新城市の地名。天正3年（1575）に織田信長と徳川家康の連合軍が、甲州武田の騎馬軍と戦った「長篠の戦い」の古戦場として知られている。

<第7日>

○ 知立特別

知立（ちりゅう）は、愛知県中部の市。旧東海道の池鯉鮒（ちりふ）の宿として発展した。市内にある知立神社は、江戸時代に東海道三社のひとつに数えられた名社で、日本武尊が元を作ったと言われている。また、東部の八橋は、『伊勢物語』にも詠まれたカキツバタの名勝地である。

○ 桶狭間ステークス

桶狭間（おけはざま）は、愛知県豊明市と名古屋市にまたがる地域にある古戦場。永禄3年（1560）、織田信長が、上洛を目指していた今川義元を破った地として知られている。

○ 神戸新聞杯（GⅡ）（菊花賞トライアル）

本競走は、昭和28年に『神戸盃』の名称で創設された重賞競走。47年に現在の名称に変更された。当初は2000mハンデキャップ戦であったが、その後幾度かの変遷を経て、平成15年より馬齢重量になった。19年より実施距離が2400mに延伸され、現在に至る。なお、第3着までの馬には菊花賞への優先出走権が与えられる。本年は中京競馬場において2200mで実施される。

神戸新聞は、神戸新聞社より発行されている日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ ききょうステークス

ききょう（桔梗）は、キキョウ科の多年草。秋の七草のひとつ。葉は卵形で、夏から秋にかけて、青紫色で星型の花を咲かせる。花言葉は「変わらぬ愛」「気品」。

○ 関ヶ原ステークス

関ヶ原（せきがはら）は、岐阜県南西端、伊吹・鈴鹿両山地に挟まれた小盆地で、岐阜県不破郡の町名。古来より交通の要衝で、愛発（あらかち）、鈴鹿とともに古代3関のひとつである不破の関所が置かれた。また、中山道・北国街道・伊勢街道の分岐点にあたり、宿駅が置かれた。慶長5年（1600）、天下分け目の戦いと称される「関ヶ原の戦い」が繰り広げられた場所として有名。

○ シリウスステークス（GⅢ）

本競走は、平成9年に創設された重賞競走。当初1400mで実施されていたが、19年より2000mに延伸された。本年は中京競馬場において1900mで実施される。

シリウス（Sirius）は、おおいぬ座のアルファ星。太陽を除くと、地球から見える恒星の中では最も明るい。名は、ギリシャ語で「焼き焦がすもの」を意味する「セイリオス（Seirios）」に由来する。

<第9日>

○ 長久手特別

長久手（ながくて）は、愛知県北西部の市。名古屋市に隣接しており、徳川家康と豊臣秀吉が戦った小牧・長久手の戦いの古戦場跡がある。愛知万博の開催地でもあり、現在は跡地に「愛・地球博記念公園」が建設され、万博の事績が残されている。

○ 白川郷ステークス

白川郷（しらかわごう）は、岐阜県北西部、大野郡の庄川上流域の一带。同地特有の茅葺家屋は、日本の木造家屋の中でも特徴的かつ合理的な造りをしているため、富山県南砺市の五箇山とともに、『合掌造り集落』としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。

○ ポートアイランドステークス（L）

ポートアイランド（Port Island）は、兵庫県神戸市、神戸港の一隅を埋め立てて造られた海上都市。着工は昭和 41 年で、56 年に日本初の都市機能を持つ人工島として誕生した。